

フジテック新標準型エレベータ エクシオール 4月から発売開始 業界初！トリプルドアセンサーや乗場液晶インジケータを採用

フジテック株式会社(本社:滋賀県彦根市 社長:内山高一)は、2005年1月から発売しています現在の標準型エレベータを全面モデルチェンジした、新標準型マシンルームレス・エレベータ エクシオール を、2008年4月1日から発売を開始します。

エクシオール は、移動システムに求められる安全と安心を徹底追求する“**Safety & Security**”(もっと安心空間へ)を最優先として、どなたにも優しく操作しやすい機能を実現した“**Comfort Design**”(もっと快適空間へ)、さらに建物の持つイメージや動線と一体化する“**Harmonic Style**”(もっと調和空間へ)を商品コンセプトとしています。

また、エクシオール の業界初の特長としては、下記のとおりです。

1. 業界初！ 「トリプルドアセンサー」を標準装備

乗り降りの安全を見守る3つのセンサーとして、「カードポケットセンサー」、「光電式ドアニック」、「光電式多光軸センサー」を標準装備しました。

2. 業界初！ 「乗場液晶インジケータ」を新たに採用

これまでのかご内インジケータに加え、今回新たに乗場インジケータにも「液晶ディスプレイ」を採用し、見やすく、多彩な表示を可能にしました。

3. 業界初！ 天井照明に主光源として「LED」を採用

これまで補助照明として、「LED光源」が使用されたことはありますが、今回、主光源として、天井照明のダウンライトに「LED光源」を採用しました。

エクシオール は、住宅用(マンション向け)から、乗用(オフィス・ホテル・商業施設・公共施設など向け)、寝台用(病院・医療施設・福祉施設など向け)まで、44機種を取りそろえています。

販売価格は、住宅用9人乗り・分速60m・7カ所停止の場合、約1,100万円(税別)です。販路は国内で、初年度の販売台数は3,500台を目標としています。

エクシオール の特長

“Safety & Security”

1. 業界初！ ドア周りの安全を強化する「トリプルドアセンサー」を標準装備

エレベータでの事故の内、約75%はドア周りで起きていることから、乗り降りの際、ドア開閉の安全を見守る装置として、3つのドアセンサーを標準装備しています。

「カードポケットセンサー」

かごドアの戸袋付近およびドアの重なり部に、赤外線ビームを照射し、ドアに近づく利用者の手や荷物などを検知すると、ドアが開くのをいったん保留し、液晶表示と音声案内により注意喚起を行います。

「光電式ドアニック」

乗場側に向けて、赤外線ビームを照射し、ドアが閉まりかけている時、エレベータに乗り込もうとする人を検知すると、ドアが反転して開きます。

「光電式多光軸センサー」

出入口のほぼ全面に赤外線ビームを照射し、その光の一部でも遮られれば、閉まりかけたドアが反転します。多光軸にすることで、人や物などの動きの検知性を高めています。



2. 地震対策機能を一段と強化しました。

「P波センサー付地震時管制運転」

地震は、まず初期微動(P波)が伝わり、その後、破壊力のある本震(S波)が到達します。この初期微動をいち早くキャッチして、エレベータを最寄階に速やかに着床させ、ドアを開くことで、乗客は安全に避難することができます。

「地震時リスタート運転機能」

これまで地震時管制運転中に安全装置が作動して、エレベータが途中で停止する場合があります。そのため、安全装置が正常に復帰した場合、自動的に地震時管制運転を再開する機能を装備しました。

「自動診断・仮復旧運転サービス」

これまで地震感知器が一定(低ガル)以上の地震を感知して運転休止となった場合、保守員が現場で点検し、安全を確認した後でない限り、エレベータを運転させることはできませんでした。そのため、遠隔点検の技術を応用して、地震によるエレベータの物的損傷を自動的に診断し、運転に支障がない場合には、自動でエレベータを仮復旧させます。この機能は、当社との遠隔保守監視の契約が必要です。

3. 停電時自動着床装置を基本装備しました。

万一の停電に備え、これまで有償付加仕様だった「停電時自動着床装置」を基本装備しました。これにより、停電の場合、かご内停電灯が点灯する一方、小型バッテリー電源でエレベータを最寄階へ速やかに着床させ、ドアを開きます。

“Comfort Design”

1. 業界初！「液晶ディスプレイ」を乗場にも採用しました。

標準型エレベータとして、業界で初めて、かご内インジケータに「液晶ディスプレイ」を採り入れたフジテック。「液晶ディスプレイ」の見やすさ、使いやすさを更に広げるため、今回、新たに乗場インジケータにも採用しました。かご位置、行先方向の表示に加え、地震発生時の案内など、多彩な表示が可能となります。



2. かご内音声案内装置を基本装備しました。

これまで有償付加仕様だった「かご内音声案内装置」を基本装備しました。エレベータの行先方向、到着階床の案内に加え、かご内が満員になった時や、災害が発生した時の誘導など、かご内の乗客に適切なアナウンスを行います。



3. 清潔で快適な“空気の質”にこだわりました。

当社従来機種から基本装備し、大変ご好評いただいています「除菌イオン発生装置」に加え、フジテックは清潔できれいな“空気の質”へのこだわりを更に追求。不快なニオイを取り除く「空気清浄機」(有償付加仕様)と、かご内を爽やかに保つ「森林浴消臭装置」(有償付加仕様)を新たにラインアップしました。



2008年3月11日

“Harmonic Style”

1. 業界初！主光源としてダウンライトに「LED光源」を採用

天井照明のダウンライトには、明るく、自然な色合いを持つ「LED光源」を業界で初めて採用しました。今回採用したLEDは、60W白熱灯と同等の明るさを持ちながら、寿命は約20倍、消費電力は約3分の1、電気代も約3分の1という長寿命化、省エネルギー化、経済性を実現しています。



2. くつろぎを演出する「間接照明」を多く採用しました。

今や建物空間の照明で主流となっている「間接照明」を多く採り入れました。気持ちを穏やかに落ち着かせ、心地よく過ごせる照明の柔らかさを生かし、人の心に優しい演出設計を追求しています。



3. シックで落ち着いたトーンのカラー、木目調を充実させました。

オフィスやマンションなどで多く採用されている、落ち着きと気品のあるシックなカラートーンを基調にしています。また、空間に木の持つ優しさと温かさを与える木目調のバリエーションを充実させました。



本件のお問い合わせ先：フジテック株式会社

本社広報室 TEL: 0749 30 6501 FAX: 0749 30 7055

東京本社広報室 TEL: 03 4330 8233 FAX: 03 4330 8220

<http://www.fujitec.co.jp>

以上